

資料

部落解放研究関係文献目録

(一九八〇年四月～六月)

【現状】

北九州産業社会研究所実態調査担当グループ「北九州市における

部落差別の現実―六次にわたる調査結果を中心に」

(「同和教育関係資料」、北九州大学、4月)

小森哲郎・上田一雄「同和問題に関する学生の意識(その四)」

(同右)

谷口勝己「戦後における同和地区の変遷―滋賀県・八幡中学校卒

業生の進路調査を中心として」

(「部落問題研究」六四号、6月)

北房部落研「部落問題についての実態調査」

(「部落問題―調査と研究」三〇号、6月)

東京都産業労働会館「かわとはきもの」№32(同上、6月)

福岡市「福岡市同和地区労働実態調査報告書(昭和五四年十一

月)」(同上、1979年11月)

広島県「同和問題調査結果統計表―県民の「同和問題」に関する

意識」(同上、1979年)

広島県「同和問題調査結果統計表―同和対策対象地域」住民の
意識」(同上、1979年)

広島県「同和問題調査結果統計表―同和対策対象地域」住民の
就業状況」(同上、1979年)

広島県「同和問題調査結果報告集」(同上、1979年)

埼玉県「昭和五四年六月一日同和地区調査結果報告書」

(同上、1980年2月)

両国地区総合計画推進委員会「大阪市両国地区環境調査(一九七

九・四・三〇)」(同上、1980年2月)

岩見和彦「被差別部落の職業と教育―天理市御経野地区労働実態

調査から」(「天理大学同和問題研究室紀要」創刊号、198

〇年3月)

横山勝英「持ち家」制度と部落解放」

(「龍谷紀要」創刊号、1980年3月)

上田一雄「部落差別の実態と課題」(「第4回部落解放東日本夏

期講座講演集」所収、1980年3月)

東京都産業労働会館「かわとはきもの」№31

- (同上、1980年3月)
大阪府「大阪府民の「同和問題」についての意識調査」報告書(資料編) (同上、1980年3月)
大阪府「大阪府民の「同和問題」についての意識調査」報告書(分折編) (同上、1980年3月)
茨木市「同和地区実態調査報告書(昭和五五年三月)」 (同上、1980年3月)
天理市同和对策就職促進協議会「御経野地区労働実態調査書(昭和五三年調査)」 (同上、1980年3月)
吉田卓司「坂出市における被差別部落の生活と労働(一九七四～五年調査)」(北条五兵衛、1980年3月)
大阪同和産業振興会「部落産業と労働災害」 (同上、1980年3月)

【行政】

- 藤岡祥三「福岡市における「窓口一本化」破る」 (「部落」三九一号、4月)
佐藤圭二「新しい町づくりレポート—王子地区改良事業の経過(その4)」(「月刊部落問題」四一号、4月)
和田鶴威「同和对策事業特別措置法の解説(3)」 (「同和研究資料」三号、近畿大学同和教育研究会、4月)
大阪府企画部同和对策室「同和对策事業のしおり(改訂版)」 (同上、4月)
窪田充治「(動向)行政・見直しすすむ高知の同和行政」

(資料2) 狭山事件再審弁護団「狭山事件異議申立書」

△部落解放同盟第35回全国大会報告集▽

- (「部落解放」一四九号、4月)
中村拓三「狭山」の再審棄却決定」 (「解放教育」一一〇号、4月)
安中支部子ども会「1・28同盟休校をたたかう—親も子も負けるな」ほか(同右)
雑元昌弘「狭山裁判の「真実」について考える1—疑問をいだけること」(同右)
高橋貞彦「狭山事件と石川氏の仮出獄」 (「同和研究資料」三号、近畿大学同和教育研究会、4月)
日高六郎「市民的常識への挑戦—狭山事件再審請求棄却の論議」 (「世界」四一三号、4月)
野間 宏「狭山裁判(第五二回)—再審棄却決定批判(1)」(同右)
八木晃介「八差別からの逃亡」を許すな—狭山再審棄却は不当である」(「新日本文学」三九二号、4月)
植松美行「さらなる闘いへ—狭山」再審棄却を糾弾する」 (同右)
川上洋一「当面する部落解放闘争の課題」 (「月刊全電通」一八一号、4月)
部落解放同盟中央本部「部落解放第25回全国婦人集会(討議資料)」(同上、4月)
部落解放同盟広島県連合会「解放新聞広島県版(縮刷版)」(「第一巻・一九七〇—一九七三」(同上、4月)

(「部落」三九二号、5月)

- 佐藤圭二「新しい町づくりレポート—王子地区改良事業の経過(その5)」(「月刊部落問題」四三号、6月)
内田正志「生田川」共同住宅」について①」(同右)
藤岡祥三「福岡市がおこなった同和行政の是正—「窓口一本化」廃止と所得制限」(「議会と自治体」二六〇号、6月)
埼玉県本部三郷市職労ほか「部落解放分科会」(「第一八回地方自治研究全国集会報告書集(第二分冊)」所収、自治研中央推進委員会事務局、1979年11月)
内閣総理大臣官房同和对策室編「同和对策事業の手引」(中央法規出版、1979年12月)
部落解放研究所「大阪市同和事業史(統編)」 (同上、1980年3月)

【運動】

- △特集▽「事実調べもせず」狭山」再審を棄却」 (「部落解放」一四八号、4月)
山上益朗「異議審におけるたたかい」
生越 忠「スコップ—核心についての判断を回避」ほか
部落解放同盟中央本部ほか「二・七」狭山」再審棄却にたいする抗議声明」
部落解放同盟埼玉県連合会「一・二八狭山同盟休校の取り組み」 (資料1) 東京高等裁判所「狭山事件再審棄却決定」

解放新聞社大阪支局編「みんながつくる」80(79・4～80・3合本)」 (同上、4月)

部落解放同盟東京都連合会「部落解放同盟東京都連合会第二〇回定期大会議案書」(同上、4月)

全国部落解放運動連合会「全解連第9回大会決定集」 (同上、4月)

部落解放研究所「第一二回総会議案書」(同上、4月)

部落解放同盟三連県連合会「第二三回定期大会議案書」 (同上、4月)

狭山中央闘争委員会「部落差別と天皇制」(狭山差別裁判七七号) (同上、4月)

国民融合をめざす部落問題全国会議「国民融合通信」七一号 (同上、4月)

上杉佐一郎「八〇年代の部落解放運動」 (「部落解放」一五〇号、5月)

野間 宏「日本を根元から変革する思想と実行力」(同右)
(資料)「松本英一議員の国会代表質問」(同右)

荒牧邦三「問題多い戸籍」附票」の自由公開」(同右)

上田卓三「(国会質問)住民票の公開制限について」(同右)

谷本寛作「部落解放地方共闘全国交流会報告」(同右)

八木晃介「ある糾弾会のドラマ」(同右)

渡部 徹「(本の紹介)「解放新聞」縮刷版」(同右)

雑元昌弘「狭山事件の「真実」について考える2—警察はなにを

をするかかわらない」という予断」

- （「解放教育」一二二号、5月）
 ▲特集▽「部落解放運動一〇年の発展」（「部落」三九二号、5月）
 柿崎博孝ほか「（座談会）この一〇年間部落解放運動はどう
 発展してきたか」
 山本長生「国民融合をめざす混住地の解放運動―御坊市・紀小竹
 のとりくみ」（同右）
 山田大介「朝日新聞は解同大会をどう報道したか」（同右）
 山口圭「（動向）運動・八〇年代の展望を切り開く―全解連第
 九回大会終る」（同右）
 兵庫県人権共闘会議事務局「八鹿・朝来暴力事件―民事・行政各
 裁判の経過と到達点（上）」（月刊部落問題、四二二号、5月）
 野間 宏「狭山裁判（第五三回）―再審棄却決定批判（2）」
 （「世界」四一四号、5月）
 亀井トム「狭山事件・再審棄却以後―石川無罪・権力犯罪の新事
 実統出」（「現代の眼」二四五号、5月）
 石田郁夫「部落解放闘争の八〇年代」
 （「流動」十二巻五号、5月）
 倉田哲治「狭山裁判―姦淫と殺害の虚構」
 （「インパクト」六号、5月）
 梶川雅宏「ピノキオ問題から市史問題へ―市史問題公開学習会の
 報告」（「みんなの図書館」三七号、5月）
 解放新聞社長野支局「解放新聞長野版（縮刷版1）」（一九七四
 ・六―一九八〇・三）（部落解放同盟長野県連合会、5月）
 狭山中央闘争委員会「事件とマスコミ」狭山差別裁判七八号▽
 （同上、5月）
 部落解放同盟三重県連・杉ヶ瀬支部、鳥羽市差別行政糾弾要綱
 （同上、5月）
 国民融合をめざす部落問題全国会議「国民融合通信」七二号
 （同上、5月）
 磯村英一「国際的課題としての「同和」問題」
 （「部落解放」一五一号、6月）
 石岡隆允「（本の紹介）「みんながつくる80」」（同右）
 ▲特集▽「さらに「狭山」を」（「解放教育」一二二号、6月）
 日高六郎「「狭山」のたたかいをどうすすめるか」
 高橋貞彦「石川氏の「再審棄却決定」」
 津田道夫「狭山裁判、棄却決定（東京高裁）の論理」
 難元昌弘「狭山裁判の「真実」について考える3「ひこくくし」の
 追及から」（同右）
 ▲特集▽「解同関係裁判では何が争われているか」
 （「部落」三九三号、6月）
 石川元也「裁判と民主主義―解同関係裁判闘争の教訓」ほか
 永岡昇司「吹田二中事件控訴審逆転勝利判決の意義」（同右）
 兵庫県人権共闘会議事務局「八鹿・朝来暴力事件―民事・行政各
 裁判の経過と到達点（下）」（月刊部落問題、四三三号、6月）
 編集部「（座談会）部落解放運動への分裂攻撃とその歴史的特徴
 ―同和会岡山市協の発足から」
 （「部落問題―調査と研究」三〇号、6月）
 野間 宏「狭山裁判（第五四回）―再審棄却決定批判（3）」

- （「世界」四一五号、6月）
 須藤 久「「奇妙な葬儀」と部落解放同盟―解放塾塾長長泉海節―
 逆境のなかの死を悼む」（「現代の眼」二四六号、6月）
 樹杉和彦「△私の提言・私の主張▽部落解放運動が私たちに提起
 している問題」（「地方政治」六号、6月）
 解放の道新聞社編「解放の道（縮刷版）」（第一分冊一九六九―
 一九七五）（第二分冊一九七六―一九七九）（全解連、6月）
 部落解放研究所編「全国大会運動方針（第二―二九回）」△部
 落解放運動基礎資料集第二巻▽（部落解放同盟中央本部、6月）
 基目寺町栄隣保館「部落解放同盟愛知県連合会第五回大会議案
 書」（同上、6月）
 狭山中央闘争委員会「開け／再審の門」△狭山差別裁判七九号▽
 （同上、6月）
 国民融合をめざす部落問題全国会議「国民融合通信」七三三号、
 （同上、6月）
 日本共産青年同盟「狭山闘争の勝利へ向けて」△部落解放闘争シ
 リーズ3▽（新時代社、1979年10月）
 石井昭男「部落解放運動の原点とは何であるか（上）」
 （「全郵政ジャーナル」六〇号、1979年11月）
 原田伴彦「第18回自治研全国集会（第11部落解放分科会）基調報
 告―特措法延長下の同和行政とその課題」
 （「月刊自治研」二四二号、1979年11月）
 国民融合をめざす部落問題全国会議「マスコミと部落問題」△国
 民融合パンフレット第四輯▽（同上、1979年11月）
 自治研中央推進委員会事務局「第18回地方自治研究全国集会のま
 とめ―第11部落解放分科会」
 （「月刊自治研」二四三号、1979年12月）
 部落解放同盟東京都連合会「あいつく部落差別事件を許すな―部
 落解放のために」（同上、1979年12月）
 部落解放同盟中央婦人対策部編「解放をめざす婦人活動―部落解
 放第二四回全国婦人集会報告書」（同上、1980年1月）
 部落解放研究所「第二回研究者会議・第十一回総会」
 （同上、1980年2月）
 庄谷邦幸「同和对策事業」における仕事保障と産業振興」
 （「桃山学院大学総合研究所報」五巻二号、1980年3月）
 磯村英一「一九八〇年への期待」（「第4回部落解放東日本夏期
 講座講演集」所収、1980年3月）
 野本勝彦「関東の部落の実態と解放運動」（同右）
 大阪府同和事業促進協議会「あいつく差別事件一九八〇」
 （同上、1980年3月）
 部落解放同盟広島県連合会青年部「底流」No.1
 （同上、1980年3月）
 部落解放同盟東京都連合会「部落解放第十一回東京都研究集会
 （討議資料）」（同上、1980年3月）
 「同和对策事業特別措置法」強化改正要求国民運動中央実行委員
 会「一九八〇年度第一次政府各省交渉要求書」
 （同上、1980年）

【理 論】

- 杉尾敏明「国民的融合と同和行政(その3)」
 (『月刊部落問題』四一号、4月)
 奥野郷太郎・岡田弘義「差別糾弾の論理」
 (『同和研究資料』三号、近畿大学同和教育研究会、4月)
 岩津洋二「貴と賤について—八聖なるもの—」をめぐって
 (『解放新聞』九六五号、4月)
 八木晃介「差別の意識構造」(解放出版社、4月)
 杉尾敏明「国民的融合と同和行政(その4)」
 (『月刊部落問題』四二二号、5月)
 小森龍邦「部落完全解放とは何か—三つの命題—」をめぐって(1)
 (2) (『解放運動と同和教育』二三八号・二三九号、5月)
 馬原鉄男「国民融合をめざす地域づくり—国民融合全国会議第二回シンポジウムから」(『部落』三九三号、6月)
 国民融合をめざす部落問題全国会議「部落差別は解消にむかっている」(『国民融合パンフレット第三輯』)
 (同上、1979年5月)
 鈴木二郎「偏見と社会」(『部落問題年報』一輯、東京部落問題研究会、1979年9月)
 豊田慶治「人権と差別・断章」
 (『華頂短期大学研究紀要』二四号、1979年12月)
 八木晃介「差別糾弾の歴史と思想」
 (『部落解放』一四四号、1980年1月)

徳二 (同右)

- 松崎 一「同和保育入門⑥—福岡における同和保育の現状」
 (『はらっぱ』一一号、4月)
 中村弘三「大学における解放(同和)教育の歴史(1)」
 (『同和研究資料』三号、近畿大学同和教育研究会、4月)
 元木健・村越末男編「同和」教育論ノート
 (解放出版社、4月)
 中野陸夫編「教科教育における人間解放の理論と展開」(『教育大
 学教科教育講座第3巻』(第一法規出版株式会社、4月)
 鈴木祥蔵編「子どものからだを育てる」(『解放保育シリーズ3』
 (解放出版社、4月)
 全国同和教育研究協議会「同和教育」(『第一八巻』(同上、4月)
 門真市教職員組合社会科実践交流会・大阪府同和教育研究協議会
 「歴史学習の資料と展開(小学校)」(同上、4月)
 田中文字「(本の紹介)『部落解放保育の創造第4集』」(言語を
 育てる—「同和」保育の理論と実際」(『集団主義保育の実際—
 集団専門部会の実践報告』(『部落解放』一五〇号、5月)
 ▲特集▽「教組その実践とたたかい」
 (『解放教育』一二二号、5月)
 海老原治善「八〇年代教育政策と教組運動の課題」
 内田宜人「主任」制反対闘争の現局面」
 桂 正孝「新教育課程と民主的編成運動の課題」ほか
 山中多美男「競争の原理を克服し共存の原理へ向かって」(同右)
 高橋峰和「全解連の学校教育介入はここまでできた—松原高校差別

大賀正行・師岡佑行・沖浦和光「理論問題座談会—八〇年代の部
 落解放理論の創造をめざして(1)(2)(3)(終)」
 (『解放新聞』九五三・九五四・九五五号、1980年1月、
 九五六号、2月)

小森龍邦「部落解放理論の創造と発展のために(1)(2)(3)」
 (『解放運動と同和教育』二三〇・二三二号、1980年1月
 二三三二号、2月)

大賀正行「部落解放理論の課題」(『第4回部落解放東日本夏期
 講座講演集』所収、1980年3月)

【解放教育】

- ▲特集▽「子どもと親と教師と」(『解放教育』一二〇号、4月)
 国分一太郎「いまの子の師であれば」ほか
 福地幸造「続・残視周辺(1)」(同右)
 ▲特集▽「学力補充学級をめぐる」(『部落』三九一号、4月)
 東上高志「学力補充学級の問題点—同和教育行政見直しの糸
 口として」ほか
 松村晃一「大阪の同和教育と狭山—二八—」(『同盟休校』にみる
 その実態」(同右)
 山下楠一「(本棚)戦後同和教育の研究」(同右)
 ▲特集▽「学級づくり—親・子ども・教師の手で」
 (『月刊どの子も伸びる』三五号、4月)
 南部吉嗣「小学校社会科の授業と教科書①」(同右)
 東上高志「物語・戦後同和教育三〇年—岡山県の民主教育と大岩

事件第二報 (同右)

- 福地幸造「続・残視周辺(2)」(同右)
 ▲特集▽「授業のすすめかた」
 (『月刊どの子も伸びる』三六号、5月)
 東上高志「物語・戦後同和教育三〇年—和歌山県の青善教育と真
 鍋清兵衛」(同右)
 (資料)「同和」教育全学シンポジウム収録
 (『大阪教育大学教育研究所報』十五号、5月)
 小巻敏雄「同和教育のあり方を考える」(『体験的教育論—一九
 八〇年代の教育を問う』所収、新日本出版社、5月)
 小沢有作「第十八分科会—人権教育」(『日本の教育』第二九集
 所収、一ツ橋書房、5月)
 滋賀県同和教育研究会「子どもたちの進路をより確かなものとす
 るために—一九七九年度のとりくみ」(『進路保障シリーズ6』
 (同上、5月)
 大阪同和保育連絡協議会「闘いの炎をひきついで—「同和」保育
 十年のあゆみ」(同上、5月)
 大阪同和保育連絡協議会「二四時間の生活の組織化をめざして
 (第四集)—「狭山」を保育の中に位置づける」(同上、5月)
 全国解放教育研究会ほか「第七回にんげん実践研究会」
 (同上、5月)
 大阪同和保育連絡協議会「大阪同和保育—第十二回総会特集」
 (同上、5月)
 ▲シンポジウム—歴史教科書の検討▽

(「解放教育」一二二号、6月)
 桂 正孝「教科書検定基準としての新指導要領」
 寺木伸明「前近代史をとらえる」
 渡辺俊雄「近現代史の記述をめぐる」
 内山一雄「近現代史記述と排外主義」
 山元六合夫「指導要領・教科書問題の受けとめ方と具体的展開」
 鈴木祥蔵「教科書問題を直視しよう」
 川向秀武「地道な青年たちの発言に期待をかけて―第35回全国大会に出席して」(同右)
 福地幸造「続・残視周辺」(3) (同右)
 (平)「(図書紹介)福岡県同和教育研究協議会編集・発行「解放教育への軌跡―福岡県「同和」教育運動史・資料編」」(同右)
 東上高志「講座・これからの同和教育1―序章・適切な批判と正しい継承」(「部落」三九三号、6月)
 ▲特集▼「座談会「子どもの食生活」―その現状と課題」(「月刊」の子も伸びる」三七号、6月)
 東上高志「物語・戦後同和教育三〇年―兵庫県の同和教育と長浜立太郎」(同右)
 久保井規夫「自分を超えて自分を見据える実践展開のために」(「現代教育科学」二八二号、6月)
 小川太郎「同和教育」(小川太郎教育著作集第5巻) (青木書店、6月)

(4)絵本・物語の理解力に関する研究―同和保育と言語の発達」(同右)
 仲島隆夫「ブラメルドにおけるカワバラの研究―被差別部落の社会と教育」(「京都教育大学教育研究所報」二五号、1979年3月)
 鳥取県教育委員会「同和教育十年の取組みと課題」(同上、1979年3月)
 相愛中・高等学校同和教育推進委員会「相愛中・高等学校同和教育の歩みNo.2」(同上、1979年3月)
 長野県上田東高等学校「同和教育研究指定校報告書」(同上、1979年3月)
 全国同和教育研究協議会「同和教育」(第十七巻) (同上、1979年4月)
 滋賀県同和教育研究会進路保障研究会「子どもたちの進路をより確かなものとするために(一九七八年度のとらえ)」(「進路保障シリーズ5」(滋賀県同和教育研究会、1979年5月)
 八木晃介「教育における「差別」と「管理」」(「新日本文学」三八六号、1979年10月)
 西 滋勝「資善教育創設に関する考察」(「和歌山の歴史と教育」所収、渡辺広先生退官記念会、1979年10月)
 福島之夫「地域史料の教材化の意義とその実践―中学校歴史学習をどうすすめたか」(同右)
 高知県同和教育研究協議会「一九七九年度高知県同和教育研究会大会報告書―解放教育をすすめるために」

山中多美男「子どもの環境を考える―親の役割、保育所の役割」(「解放保育シリーズ4」(解放出版社、6月)
 全国解放教育研究会「部落解放教育への出発(Ⅰ)」(「部落解放教育資料集第七巻」(明治図書、6月)
 全国解放教育研究会「部落解放教育への出発(Ⅱ)」(「部落解放教育資料集第八巻」(明治図書、6月)
 全国解放教育研究会「部落解放運動と教育の発展(Ⅰ)」(「部落解放教育資料集第九巻」(明治図書、6月)
 全国解放教育研究会「部落解放運動と教育の発展(Ⅱ)」(「部落解放教育資料集第十巻」(明治図書、6月)
 大阪府同和教育研究協議会「大阪府同和教育研究協議会「一九八一年度用中学校教科書検討資料」(同右、6月)
 大阪府同和教育研究協議会「大阪市同和教育研究協議会「一九八一年度用中学校教科書検討資料」(同右、6月)
 高知県同和教育研究協議会「実践集録―解放教育のとらえ」(同上、6月)
 杉尾敏明「同和教育論の今日的争点―東上・西両氏の所論批判」(「阪南論集」一四巻一、二、1979年2月)
 学力論研究プロジェクト・チーム「教育の機会均等と学力問題―高校生活と社会階層」(「研究報告集録」九四号、大阪府科学教育センター、1979年3月)
 授業研究プロジェクト・チーム「学力保障のための授業研究その2―小学校低学年における文学教材の指導について」(同右)
 乳幼児教育研究プロジェクト・チーム「乳幼児教育に関する研究」

(同上、1979年10月)
 全国「同和」保育連絡協議会(準備会)・奈良県解放教育研究会「部落解放第二回全国「同和」保育研究会集」(第四回奈良県解放教育研究会集) (同上、1979年10月)
 佐賀県同和教育研究会「第十回佐賀県「同和」教育研究大会集録」(同上、1979年10月)
 京都市教育委員会「同和教育の概要(昭和五四年)」(同上、1979年10月)
 林 竹二・西田秀秋「怨恨を超えて悲願へ―部落と朝鮮をめぐる」(「近代民衆の記録9部落民」(月報)」、1979年11月)
 ▲特集▼「同和教育の創造的深化」(「兵庫教育」三一巻八号、1979年11月)
 関西大学自主ゼミ「部落解放論」実行委員会「長崎の部落と解放の原点―第七回自主ゼミ調査報告書」(同上、1979年11月)
 ▲特集▼「同和教育の現状と課題」(「教育とちぎ」三五一号、1979年12月)
 長野県教育委員会編「同和教育研究指定校報告書(昭和五二・五三年度)」(同上、1979年12月)
 高知県教育委員会「高校教育課、高等学校同和教育資料(第十二号)」(同上、1980年1月)
 同和教育委員会「管理職対象同和教育研修会実施状況全国調査の報告」(「全国連合小学校長会研究紀要」二号、1980年2月)
 第6回九州地区「同和」教育夏期講座地元実行委員会「第6回九州地区「同和」教育夏期講座鹿児島集報告集」

- (同上、1980年2月)
高松ロヒ子ほか「幼稚園における同和教育」(『教育研究報告』四六巻)一、明石市教育研究所、1980年3月)
芝野文子ほか「同和学习教材の研究」(『教育研究報告』四六巻二、明石市教育研究所、1980年3月)
横山昌子ほか「同和教育実践試案の研究」(『研究記録』昭和五四年、宇都宮市立教育研究所、1980年3月)
山口満「部落差別と幼児教育—低学力の克服とつけのあり方の問題を中心にして」(『部落問題同和教育研究』三、奈良教育大学同和教育推進協議会、1980年3月)
木山良亮「融和教育の成立過程—解放教育運動史研究(その3)」(『教育学研究紀要』二五号、中国四国教育学会、1980年3月)
△(報告)「同和」地区に於ける児童の低学力克服に関する教育方法的研究▽(『関西大学教育学セミナー』特別号、1980年3月)
鈴木祥蔵「同和」保育の展開」
山下栄二「一人ひとりの意欲を大切にすること共同体志向の保育」
野村幸正「読字の補償教育について」
田中欣和「学力保障」運動の展開と諸問題」
田中欣和「迦及型学習の意義と課題—教材集「ひらがな」を中心に」
小川正「学力」研究の動向と問題点—「解放の主体」形成をめざして」
(同上、1980年2月)
高畑忠昭ほか「被差別部落の歴史に関する学習指導のための教材資料(改訂版)」△研究報告二五(A)▽(同右)
兵庫県立教育研修所「同和教育長期研修報告」△第八集▽
(同上、1980年3月)
滋賀県教育委員会・小中学校同和教育実践課題研究委員会「小中学校同和教育実践指導事例集」(同上、1980年3月)
大阪府同和教育研究協議会進路実態追跡プロジェクトチーム「大阪の進路保障」△進路実態追跡調査報告第九集▽
(同上、1980年3月)
滋賀県東浅井郡虎姫町虎姫中学校「同和教育の研究(昭和五四年度)」(同上、1980年3月)
第4回県同研大会実行委員会「第4回鹿児島県「同和」教育研究大会報告集」(鹿児島県同和教育研究協議会、1980年3月)
大阪市教育委員会社会教育部編「これからの教育(十訂版)—同和教育をすすめるために」(同上、1980年3月)
大阪同和教育推進校実習生組合「解放教育の担い手をめざして(一九七九年度活動報告集)」(同上、1980年3月)
東大谷高等学校同和教育委員会「夜明けをめざして」夜明けをめざして(用語解説編)(同上、1980年3月)
日之出子ども会指導者集団編「子ども会指導者の実践研究—部落解放日之出子ども会の実践報告」(大阪府同和事業促進日之出地区協議会、1980年3月)
羽曳野市立羽曳野中学校・大阪府同和教育研究協議会「英語の自主編成—原学級保障をめざして(中学一年)」
- 玉田勝郎「学力保障の方法的課題と展望」
右島洋介「京都府下中舞鶴地区における同和教育運動について」
海老原治善「部落解放総合十か年計画と部落解放教育計画」
授業研究プロジェクト・チーム「学力保障のための授業研究(その3)—小学校高学年における説明的文章の指導について」
(『研究報告集録』九五号、大阪府科学教育センター、1980年3月)
田中正枝「乳幼児教育に関する研究(5)—物語能力に関する研究」(同右)
田畑元信・梅田昌彦「乳幼児教育に関する研究(5)—絵本・物語の理解力に関する研究(2)—同和保育と言語の発達」(同右)
林力「国際児童年と解放教育」
(『第4回部落解放東日本講座講演集』所収、1980年3月)
八尾市教育委員会「昭和五四年同和教育資料(第十四集)・同和教育の手引(第十三集)」(同上、1980年3月)
相愛中・高等学校同和教育推進委員会、相愛中・高等学校同和教育の歩みNo.3(同上、1980年3月)
村田真吾・米田隆平「△研究資料▽にんげん」実践参考資料目録(大阪府教育研究所、1980年3月)
高畑忠昭ほか「被差別部落の歴史に関する学習指導のための教材資料(指導の手びき)」△研究報告二五(B)▽(同右)
内山一雄「地域の教育力—学校と地域とのかかわりから」△教育研究紀要第一七九号▽(同右)
- (同上、1980年)
大阪府同和教育研究協議会「解放教育の創造5(一九七九年度大阪府同和教育研究大会実践報告集)」(同上、1980年)
- 【人権】
田中三郎「(ひろっぱ)トッカビ子ども会の呼びを受けとめて」(『はらっぱ』十一号、4月)
沼田稲次郎「社会的人権の思想」△新NHK市民大学叢書1▽
(日本放送出版協会、4月)
金 發汀「ぼく、もう我慢できないよ—ある「いじめられっ子」の自殺」(一光社、4月)
金 達寿ほか「教科書に書かれた朝鮮」(講談社、4月)
全障連全国出版局「全障連第四回大会報告集」(同上、6月)
日本婦人団体連合会「婦人白書(一九八〇年版)」
(草土文化、6月)
高杉晋吾「権力の犯罪」(新泉社、6月)
日本弁護士連合会全国会等対策会議再審法改正部会「日弁連再審通信」No.17(同上、6月)
山田光二「婦人と人権」(大阪府教育委員会、1979年3月)
グループ社会派◎「ドキュメント冤罪の研究」
(現代ジャーナリズム出版会、1979年7月)
大阪府外国人教育研究協議会「市外教(合冊)」△創刊号(第二三号)▽(同上、1979年8月)
青地 農「魔の時間—六つの冤罪事件」

- (筑摩書房、1980年1月)
日本障害者リハビリテーション協会「国際障害者年関係資料集」
№1(同上、1980年2月)
日本弁護士連合会国会等対策会議再審法改正部会「日弁連再審通信」№16(同上、1980年2月)
松元忠士「部落問題と国際人権規約」、『部落問題同和教育研究』三号、奈良教育大学同和教育推進協議会、1980年3月)
山田光二「日本の伝統文化と人権意識」
(「大理大学同和教育研究室紀要」創刊号、1980年3月)
南川諦弘「人権の国際法的保障—国際人権規約の締結を機として」(同右)
長谷川八郎「障害児教育から人間教育へ」(同右)
内山一雄「在日朝鮮人問題と専修学校制度」(同右)
身体障害者雇用促進協会「私の提言—障害者の雇用を進めるには」(同上、1980年3月)
【社会啓発】
長谷川善計「社会同和教育の再検討(中)—市民啓発冊子を中心として」(「月刊部落問題」四一号、4月)
長谷川善計「社会同和教育の再検討(下)—市民啓発冊子を中心として」(「月刊部落問題」四二号、5月)
全解連神戸市協議会「オートスライド・シナリオ—私たちの街私たちの運動」(同右)
杉之原寿一「新しい部落問題」(新版)、『市民学習シリーズ1』
橋本正樹「ハルボ」滋賀県愛知郡愛知川町川久保／野洲郡野洲町和町」
右田伊佐雄「伝承記録」
林 保雄「再創造」
江守 徹「(批評と紹介)村崎義正「猿まわし復活」」(「朝日ジャーナル」一一〇五号、4月)
日野範之「(書評)被差別の、土着的な価値から—山本哲士「学校・医療・交通の神話」」(「季刊クライシス」三号、4月)
大西巨人「神聖喜劇」(第4巻)、『第5巻』(光文社、4月)
木津 謙「竜安寺石庭と被差別民衆—テレビドラマ「音次郎の庭」製作にかかわって」(「部落解放」一五〇号、5月)
『創る—みんなでつくる文化のページ』(同右)
藤岡喜美「寺岡先生」ほか
川元祥一「虚構の陽(連載小説第十一回)」(同右)
編集部「女と仕事—十五年が通じない」
(「解放教育」一一二号、5月)
『部落の民謡をたずねて12』(「部落」三九二号、5月)
橋本正樹「ハルボ」滋賀県野洲郡中主町北比江／犬上郡甲良町長寺」
右田伊佐雄・森本圭子「伝承記録」
さのよしひこ「再創造」
高田 一「第八回水曜喫茶店記—日野範之「ジャムナ河の声をめぐって」」(「文学学校」一八二号、5月)
(兵庫部落問題研究所、5月)
枚方市・枚方市教育委員会「連続講座「生きることにについて」」
△同和教育学習資料8(同上、5月)
福田良夫「スライド」ふるさととは売らない」に取りくんで」(「部落問題—調査と研究」三〇号、6月)
北九州同和对策推進協議会「企業と同和教育—同和教育の早期解決をめざして」(同上、6月)
広島県民生部同和对策課「啓発活動の今後の課題—県民の同和教育意識調査と関連して」(同上、6月)
部落解放研究所編「差別の歴史にまなぶ—生きる(学習の手引き)」(同上、1980年1月)
高知市・高知市教育委員会「人権と差別」(同上、1980年1月)
阿南市同和教育協議会「自分のための同和教育—市民一人一人の利益とのかかわりを考える」(同上、1980年1月)
のじぎく会館「同和教育啓発ハンドブック—今日より明日に向かって」(同上、1980年2月)
枚方市・枚方市教育委員会「貸し出しフィルム目録」(同上、1980年3月)
【文化・思想】
編集部「女と仕事—裏を打つ音」
(「解放教育」一一〇号、4月)
△部落の民謡をたずねて11』(「部落」三九一号、4月)
塩見鮮一郎「(著者自評)敢えて差別の意味を問う、私の二冊の本—「黄色い国からの脱出口」「告別の儀式」」(「50冊の本」二三号、5月)
篠田浩一郎「「破戒」と「明暗」—近代小説はいかに書かれたか(第一回)」(「使者」五号、5月)
田中克彦「ことばの差別」(人間選書37)』(農山漁村文化協会、5月)
塩見鮮一郎「告別の儀式」(田畑書店、5月)
川元祥一「虚構の陽(連載小説第12回)」(「部落解放」一五一号、6月)
『創る—みんなでつくる文化のページ』(同右)
川崎町立同和保育所「人間を大切にしたい—絵のとおりくみ—」(「3・3・3」ほか)
さねとう・あきら「(図書紹介)『部落の語り伝え—火の玉のはなし』」(「解放教育」一一二号、6月)
△部落の民謡をたずねて13』
橋本正樹「ハルボ」滋賀県彦根市広野」
石田隆恒「ハルボ」滋賀県犬上郡甲良町長寺」
右田伊佐雄「伝承記録」
林 保雄「再創造」
小松とき「(読書)西門民江著「峠の道—部落に生きて」」(「月刊部落問題」四三三号、6月)
奥田美穂「(書評)ひとつの教育論—村崎義正著「猿まわし復活」」(「月刊社会教育」二七七号、6月)

小林初枝「こんな差別が」へちま少年図書館48▽

(筑摩書房、6月)

平野一郎「記者の目と人権」△部落解放新書11▽

(解放出版社、6月)

川端俊英「『破壊』の社会性―評価の統一をめざして」

(『日本文学』二八巻八号、1979年8月)

北川鉄夫「日本文学にみる東京の部落の状況―主として明治維新から敗戦まで」(『部落問題年報』第一輯、東京部落問題研究会、1979年9月)

広瀬 鎮「我が国をまわし芸能集団における芸能の継承と芸能の観

容受容」(『民族学研究』四四巻二号、1979年9月)

土方 鉄「中野さんの『差別語論』」

(『新日本文学』三八八号、1979年12月)

森本 稜「川端文学における差別意識の構造―『掌の小説』を中心に」(『安田女子大学紀要』八号、1979年12月)

安井和夫「このひとすじ(第五部)夜明け(完結編)」

(らくぶん社、1980年2月)

山田光二「御経野の子守唄」考証ノート」

(『天理大学同和問題研究室紀要』創刊号、1980年3月)

梅沢利彦ほか「文学の中の被差別部落像―戦前篇」

(明石書店、1980年3月)

栃木県同和地区文化遺産調査委員会「被差別部落の生活と文化―

栃木県同和地区文化遺産調査報告」

(栃木県教育委員会、1980年3月)

【宗 教】

原田伴彦「宗教と部落問題①―一如会」を設立」

(『南御堂』二二三号、4月)

小林大二「小県郡依田窪被差別部落の墓標―調査報告書」

(部落解放墓碑研究会、4月)

山本尚友「東本願寺塔頭金福寺について(上)」

(『京都部落史研究所報』第二九号、5月)

原田伴彦「宗教と部落問題②―宗教界への厳しい批判」

(『南御堂』二二四号、5月)

同炎の会事務局「同炎―創立総会報告」(同上、5月)

△特集▽「宗教と部落差別」(『部落解放』一五一号、6月)

梅原正紀「町田発言」の波紋を追う」

原田伴彦「宗教と部落問題(中)」

八木晃介「個人の救済と社会の変革―町田差別発言で感じた

こと」

田中松月「浄土真宗本願寺派の同朋運動について」

三掃義光「真宗大谷派同和運動の課題―満之・了温から『同

炎の会』へ」

田辺教一「宗教と同和問題―天理教の場合」

東岡山治「キリスト教界のこれまでの取り組みと今後―主として日本基督教団の場合」

奥江宗顕「私にとつての仏縁と部落解放運動」

黒田 一「(本の紹介)真宗大谷派同和推進本部」身同一同和研

究紀要』創刊号・二号」(同右)

原田伴彦「宗教と部落問題④―無関心で冷淡な宗教家」

(『南御堂』二二五号、6月)

研究部「仏教と部落問題について(1)―仏教徒は部落問題に目ざめよう」(『月刊滋賀の部落』五二号、6月)

同和推進本部「身同一同和研究紀要」三号(真宗大谷派宗務所、6月)

工藤英一「日露戦争期の部落問題に関する一試論―キリスト教と部落問題」(『部落問題年報』一輯、東京部落問題研究会、1979年9月)

△特集▽「部落差別を考える」

(『信徒の友』日本キリスト教団出版局、1979年12月)

萩原俊彦「群馬県の水平運動とキリスト者清塚良三郎」

(『史朋』一五号、1979年12月)

工藤英一「部落問題とキリスト教」

(『明治期のキリスト教』所収、教文館、1979年12月)

原田伴彦「宗教と部落問題⑤―先駆者・武内了温」

(『南御堂』二二〇号、1980年1月)

仲尾俊博「被差別カーストと仏教⑧」

(『月刊滋賀の部落』四八号、1980年2月)

原田伴彦「宗教と部落問題⑥―部落寺院を賤視」

(『南御堂』二二一号、1980年2月)

原田伴彦「宗教と部落問題⑦―寺院・神社にかかわる差別事象」

(『南御堂』二二二号、1980年3月)

仲尾俊博「被差別カーストと仏教⑨」

(『月刊滋賀の部落』四九号、1980年3月)

十川嘉郎「天理教のいんねん観と差別(試論)」

(『天理大学同和問題研究室紀要』創刊号、1980年3月)

水上 勉「仏教と差別」(『第4回部落解放東日本夏期講座講演

集』所収、1980年3月)

近藤祐昭「部落解放運動と宗教の課題」(同上、1980年)

【通 史】

盛田嘉徳「あの人①」

(『解放新聞』大阪版、四〇三号、4月)

山谷一三「河内水平社の同人たち―この人に聞く①」(同右)

盛田嘉徳「あの人②」

(『解放新聞』大阪版、四〇七号、5月)

東口平蔵「一誠会から船松水平社へ―この人に聞く②」(同右)

南 広好「ころろ―議員二五年の回想」(同上、5月)

岡あきら「刑冠記(第二部第九章)」

(『部落問題―調査と研究』三〇号、6月)

盛田嘉徳「あの人③」

(『解放新聞』大阪版、四一一号、6月)

嶋谷保三「ふるさと南方―この人に聞く③」(同右)

柴田啓蔵「ああ解放の旗高く―解放歌」の意味」

(福岡部落史研究会、1979年12月)

福岡部落史研究会「福岡県被差別部落史の諸相」△部落解放史研

- 究叢書第一巻▽(同上、1979年12月)
- 灘本昌久「丹後調査報告4上司一航空隊が土地を奪った」
(『京都部落史研究所報』二五号、1980年1月)
- 師岡佑行「丹後調査報告5日置一子守りと先生」(同右)
- 山本尚友「丹後調査報告6算所一宮津藩最大の部落」(同右)
- 源城政好「丹後調査報告6―(資料紹介)『雇者由緒記』について」(『京都部落史研究所報』二六号、1980年2月)
- 白石正明「丹後調査報告7大島一働き助けあった村」
(『京都部落史研究所報』二七号、1980年3月)
- 【前近代】
- 網野善彦「日本中世の平民と職人(上)」
(『思想』六七〇号、4月)
- 後藤文利「非人の語源」
(『同和研究資料』三号、近畿大学同和教育研究会、4月)
- 中村正夫「豊前・筑前地方における部落史的特質」
(『同和教育関係資料』、北九州大学、4月)
- 安達五男「被差別部落の史的的研究」(明石書店、4月)
- 牧 英正「弾左衛門の身分引き上げと松本良順一司馬遠太郎、胡蝶の夢」(『部落解放』一五〇号、5月)
- 網野善彦「日本中世の平民と職人(下)」
(『思想』六七一号、5月)
- 横井 清「部落史と中世史①」(『解放新聞』九六九号、5月)
- 畑中敏之「近世村落社会と、かわた村―大阪周辺における、本村付」体制の分析を中心に」(『近世大阪地域の史的分析』所収、御茶の水書房、5月)
- 横井 清「下剋上の文化」(東京大学出版会、5月)
- 高市光男「伊予小松藩における賤民制―小松藩会所日記から」(『部落問題研究』六四号、6月)
- 間瀬久美子「幕藩体制下における「河原巻物」の成立と変遷―弾左衛門由緒書」と諸国の「河原巻物」をめぐって」(同右)
- 脇田 修「(紹介)『揖菴の部落史』(第一巻近世篇)」(同右)
- 人見彰彦「(シリーズ)部落史のひとこま」
(『部落問題―調査と研究』三〇号、6月)
- 白石正明「(批判)と紹介▽藩政初期から幕末までの差別の諸相を解明―布引敏雄、長州藩部落解放史研究」
(『朝日ジャーナル』二二巻二四号、6月)
- 塚田 孝「(書評)▽南和男、幕末江戸社会の研究」
(『歴史学研究』四八一号、6月)
- ▲特集▽「中世の被差別民」(『歴史公論』五五号、6月)
- 原田伴彦・高取正男・網野善彦「(座談会)中世の賤民とその周辺」
- 横井 清「賤民」と「隸属民」―中世身分制研究への一視点」
- 井上満郎「散所の周辺をめぐって」
- 盛田嘉徳「中世賤民と芸能」
- 中ノ堂一信「中世の勸進と三昧聖」
- 森 竜吉「鎌倉仏教と賤民」
- 川嶋将生「河原者について」
- 高橋富雄「被征服民と賤民―問題の存在形態」
- 宮本常一「賤民と宗教」
- 盛田嘉徳「鉦打ち」
- 村井康彦「蔑視された武者たち」
- 盛田嘉徳「鉢叩き」
- 伊東久之「遊女」
- 青盛 透「特集関係文献解説」
- 東 義和「(書評)部落史研究の新傾向―盛田嘉徳、岡本良一、森 杉夫著『ある被差別部落の歴史』にみる」
- 森 杉夫著『ある被差別部落の歴史』にみる」
(『ヒストリア』八七号、6月)
- 丹生谷哲一「検非違使とキヨノ」(同右)
- 横井 清「部落史と中世史②」(『解放新聞』九七二号、6月)
- 原田伴彦「近世部落と芸能」
(『しごく』(四国部落史研究協議会報)三号、6月)
- 富永徳孝「土佐における部落形成史の問題点」(同右)
- 三好昭一郎「香川県近世部落史の概略」(同右)
- 横井 清「網野善彦、無縁・公界・楽―日本中世の自由と平和」(『芸能史研究』六四号、1979年1月)
- 高橋精一「江戸時代の社会経済―乞胸・猿飼の共同体的生活」
(『大東文化大学紀要(社会自然科学)』一七号、1979年3月)
- 森 杉夫「出作をめぐる差別と争論」(『大阪府立大学紀要(人文・社会科学)』二七号、1979年3月)
- 内田九州男「大塩の乱と部落住民(下)―考察のための基礎作業」(『大塩研究』七号、1979年3月)
- 峰岸純夫「網野善彦、無縁・公界・楽」によせて①」
(『人民の歴史学』六〇号、1979年8月)
- 成沢栄寿「近世穢多の『起源』説についての若干の考察―未解放部落の分布にふれて」(『部落問題年報』一輯、東京部落問題研究会、1979年9月)
- 渡辺 広「未解放部落の歴史的研究における方法の問題」
(『和歌山の歴史と教育』所収、渡辺広先生退官記念会、1979年10月)
- 中西かつみ「皮田と土地―御坊周辺についての雑考」(同右)
- 田中博子「海士郡木本村における入会について―泉州山・定米山を中心に」(同右)
- 丹生谷哲一「中世における非人施行と公武政権」
(『歴史研究』一七号、1979年11月)
- 妻鹿淳子「備前藩における非人と日蓮宗不受不施派について」
(『日本史研究』二〇八号、1979年12月)
- 細川涼一「中世前期の非人について」
(『大学院研究年報』九号、中央大学、1980年3月)
- 森 杉夫「斃牛馬の処理制」
(『しおあな研究』三号、1980年3月)
- 荒井真次郎「関東の部落の歴史」(『第4回部落解放東日本夏期講座講演集』所収、1980年3月)
- 山田光二「天理図書館蔵『松操録』紹介」

- (「天理大学同和問題研究室紀要」創刊号、1980年3月)
川嶋将生「室町期における被差別民の動向」(同右)
市川訓敏「幕末土佐の穢多僧道に上書について」
(「関西大学部落問題研究室紀要」六号、1980年3月)
小西愛之助「宗門改帳の形式化―摂津国嶋下郡中城村東組西所」
(同右)
山口県教育委員会編「山口県同和問題関係史料集(近世)」
(同上、1980年3月)

【近現代】

- 寺田政幸「兵庫における戦後部落解放運動のあゆみ④―失対打ち
り反対闘争から求職闘争へ(下)」
(「月刊部落問題」四一号、4月)
村越末男「(批評と紹介)西田秀秋編「近代民衆の記録9―部落
民」」(「朝日ジャーナル」一一〇六号、4月)
白石正明「部落改善運動から水平社の創立へ」
(「大正期の権力と民衆」所収、法律文化社、4月)
長尾真砂子「清水紫琴と、移民学園」(1)―明治二〇年代、女流民
権家として登場」(「京都部落史研究所報」二八号、4月)
蛇草の歴史をつくる会編「蛇草における生活と闘いの歴史(資料
編一)」(同上、4月)
渡辺俊雄「(新刊紹介)すべての労働者・人民の共有財産―部
落解放運動基礎資料集(全4巻)」
(「季刊労働運動」二三号、5月)

伴野敬一「長野県における部落問題の教育史的研究―明治前中期
を中心として」(同右)

塚田正明「(書評)青木孝寿著「近代部落史の研究―長野県の具
体像」」(同右)

北川 健「山口県近代未解放部落の史的展開―その計数的諸テ
タの析出と課題」(「山口県地方史研究」四二号、1979年
10月)

藤野 豊「水平社未組織県における差別撤廃運動―神奈川県の場
合」(「史観」一〇二号、1979年10月)

佐和慶太郎「水平社の運動と部落委員会活動の意義について」
(「労働運動研究」二二一号、1979年11月)

成沢栄寿「明治の思想と部落問題二片」

(「東京部落研究会報」一〇二号、1980年1月)

中村福治「一九二〇年代前半期の融和政策―中央融和事業協会設
立まで」(「部落問題研究」六三号、1980年2月)

林 博史「一九三〇年代融和運動の形成」(同右)

藤野 豊「大正デモクラシーと部落問題」(同右)

今西 一「農地改革期における農村構造の変貌と農民運動―京都
府熊野郡の場合」(同右)

青木孝寿「(紹介)「愛媛近代部落問題資料」(上巻)」(同右)

白石正明「有隣・徳風の子どもたち」

(「はいでいあ」四号、大阪薬科大学、1980年2月)

八箇亮仁「工場法と大阪市の夜学」(同右)

森谷宏幸「産炭地鞍手郡における水平社運動と結合した小作争議

編集部「大正初期の融和運動―明治の光」研究(1)

(「滋賀の部落」五一号、5月)

長尾真砂子「清水紫琴と、移民学園」(2)―柳原部落訪問は外的要
因」(「京都部落史研究所報」二九号、5月)

成沢栄寿「最近の融和運動・融和政策研究の動向について」

(「京都部落研究会報」一〇四号、5月)

佐々木隆爾「戦後史研究と部落問題」

(「部落問題研究」六四号、6月)

竹永三男「(動向)研究―近代における部落問題の歴史的研究の
当面の課題」(「部落」三九三号、6月)

山田敬男「(本棚)部落問題研究所編「戦後部落解放運動の研
究」」(同右)

大谷 正「大平洋戦争下の満州農業移民―農民運動と融和政策に
関連して」(「ヒストリア」八七号、6月)

編集部「大正初期の融和行政―明治の光」研究(2)

(「月刊滋賀の部落」五二号、6月)

谷口勝己「滋賀県における部落解放運動―同和教育運動史のため
に④」(同右)

白石正明「模範」的融和教育の一例―八幡尋常小分教場の誕生
と解体」(「京都部落史研究所報」三〇号、6月)

部落解放研究所編「全国大会運動方針(第二)―二九回」(「部
落解放運動基礎資料集第二巻」)

(「部落解放同盟中央本部、6月」)

青木孝寿「社会運動と大正デモクラシー―部落解放運動の成立」

(「長野県近代史研究」九号、1979年5月)

の展開」(「福岡教育大学紀要」二九号)第一分冊社会科
編、1980年2月)

谷口勝己「滋賀県における戦後の部落解放運動―同和教育運動史
のために④」(「月刊滋賀の部落」四八号、1980年2月)

谷口勝己「滋賀県における戦後の部落解放運動―同和教育運動史
のために⑤」(「月刊滋賀の部落」四九号、1980年3月)

松浦利貞「被差別部落と教育―近代東京の場合」(「紀要」八号、
東京都立上野高等学校、1980年3月)

梅田 修「融和教育」の展開と「日本精神」

(「京都大学教育学部紀要」二六号、1980年3月)

成沢栄寿「世良田事件について」

(「東京部落研究会報」一〇三号、1980年3月)

京都部落史研究所「京都部落史年表―近代篇(稿本)」

(同上、1980年3月)

部落解放研究所「全国大会運動方針(第一)―二〇回」(「部
落解放運動基礎資料集第一巻」)

(「部落解放同盟中央本部、1980
年3月」)

白石正明「融和政策と融和運動―資料編(Ⅲ)」(「教育研究紀
要」一七八号、大阪市教育研究所、1980年3月)

要」一七八号、大阪市教育研究所、1980年3月)